



記者発表資料
平成20年4月25日
イベント創造プラットフォーム運営委員会
委員長 山崎洋子
〔お問合せ〕事務局 TEL045-662-8231

決定！ ハマっ子イベント大賞

【ステージ部門】2団体・【展示部門】2団体が決定

横浜開港150周年に向けて市民発のイベントを支援するイベント創造プラットフォーム運営委員会では、平成20年5月31日～6月2日に横浜赤レンガ倉庫1号館で開催する「Y150市民参加イベント」において、市民から募集したイベント企画のうちの優秀作品に制作費を補助し、発表の場を提供する「ハマっ子イベント大賞」を実施します。市内15区から【展示部門】14件【ステージ部門】21件、計35件の応募があり、この度、審査会を開催した結果、各部門ごとに下記の4団体を大賞に決定しました。受賞企画にはそれぞれ50万円の制作費を補助し、実施に向けた制作に入っていただきます。

【展示部門】

ハマっ子イベント大賞受賞企画

企画名称／主催団体	企画要約	日程と会場
横浜 海の散歩道 ／海をつくる会	(企画内容)会場内に海底トンネルを作り、トンネル内に水槽やふれあいコーナーを作り、横浜の水中生物などを見たり、触れたりできるようにします。 (趣旨等)1981年から山下公園海底清掃を毎年継続実施し、金沢区、神奈川区でアマモ(海草)の移植活動、そのほか環境学習などを行っている団体。港横浜。しかし、海に触れることのできないのが横浜です。そこで、私たちは「海に触れる」を目的とし、体験できる「海」を作ろうと企画しました。	5/31～ 6/2
横浜から！手をつなごう世界に広がれみんなのフ(和・輪)／国際交流ゆめプロジェクト	(企画内容)つながりのある様々な団体、アーティストとともに音楽、映像、造形、身体アートなどの作品展示、ワークショップなどを実施。 (趣旨等)港南区国際交流ラウンジ等での活動を経て、2005年に結成した団体。イベントや料理教室などを通じた国際交流などを企画、実施してきました。150年前、横浜は世界に向け開港したことにより世界とつながりました。150年後の今、人種、国籍、性別、世代など様々な壁を越え、アートを通じた人と人のつながりを横浜から世界に発信します。	赤レンガ倉庫1号館2階

【ステージ部門】

企画名称／主催団体	企画要約	日程と会場
まち・みらい・ゆめ～U-19シンポジウム／NPO法人ミニシティ・プラス(NPO申請中)	(企画内容)「まち・みらい・ゆめ」をテーマに日本各地のU-19や横浜に住む様々な子どもたちのトーク等を実施。 (趣旨等)19歳以下の子どもたちの創る仮想のまち「ミニシティ」が全国に広がる中、本年8月にドイツ・ベルリンで開催される、第1回こどものまち世界会議での日本からの参加者のスピーチの骨子となるメッセージを集めるとともに、2009年の第2回こどものまち世界会議横浜誘致を目指し、U-19実行委員会の立ち上げ宣言をします。	6/1 赤レンガ倉庫1号館3階
朗読音楽ライブ 横濱夢語り／横濱夢語りプロジェクト	(企画内容)残しておきたい横浜の物語や街の片隅に眠る歴史的な話、人々の生活など「ハマっ子の記憶」「町の記憶」を朗読と音楽で語り伝えていく1コイン(500円)ライブ。 (趣旨等)薄れゆく体験と記憶を後世に残すべく、2004年12月に「横濱夢語り」プロジェクトを発足させました。今回は開港150年の歴史のうち、横浜が歴史上大きく変貌した3つの時代(開港、戦争、戦後)を朗読と音楽で語り伝えます。	6/2 赤レンガ倉庫1号館3階

* 募集にあたっては、テーマを「開国・開港150周年、市民の船出」としました。

* 審査については、①テーマに沿った内容であるか、②企画性とオリジナリティがあるか、③実現性は高いか、④市民の参加や集客力があるか、⑤2009年以降への発展性・継続性があるか、⑥実施にあたって強い組織力があるか、の6点を基準に行いました。

本件に関するお問い合わせは、イベント創造プラットフォーム運営委員会事務局
TEL.&FAX.045-662-8231 またはメールで info@kaikou150.jp